学校番号	１００７

令和３年度　公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	２単位	年次	２年次
講座名	現代社会						
使用教科書	最新現代社会　新訂版　（実教）						
副教材等	最新図説　現社　（浜島書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代におけるさまざまな社会問題を理解し、現在の日本のあり方を考えさせる。また、自ら解決する力を養う。

卒業後に自立するためには何が必要なのか、青年期の課題を通じてさまざまな観点から考えさせる。

幸福・正義・公正に基づき、社会のあり方を考察する基盤を理解させる。

２　学習の到達目標

人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としてのあり方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、社会的事象を総合的に考えようとする態度と民主的・平和的なよりよい社会の実現に向けて参加・協力する態度を身に付け、現代社会に生きる人間としての在り方や生き方について自覚を深めようとする。	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄から課題を見いだし、社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断し、その過程や結果を適切に表現する。	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄に関する諸資料を様々な媒体を通して収集し、有用な情報を主体的に選択し活用して学び方を身に付ける。	現代社会の基本的問題と人間としての在り方や生き方にかかわる基本的な事柄や、学び方を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期(前半)	環境と私たちの生活	● 地球環境のいま ● 私たちの地球を守るために ＜具体的な学習内容＞ ・地球環境問題について、よりよい社会を築くために解決しなければならない問題として考える。 ・地球環境問題が国際的な問題となっていることや、その解決に向けての取り組みについて理解する。 ・熱帯林伐採の考察を通して、幸福・正義・公正など社会のあり方を考察する基盤を理解する。	○ ○	○		○ ○	a:地球規模で発生する環境問題に対して関心が高まり、よりよい社会を築くために解決しなければならない問題として考える態度を身につけている。 b:地球環境問題を、日常生活における身近な問題と関連させて考察し、現在だけでなく、将来にわたる問題として地球環境問題を考察している。 d:さまざまな地球環境問題について、発生のメカニズムを具体的に理解し、国際的な問題となっていることや、その解決に向けての取り組みについて理解し、知識を身につけている。	定期考査 ワークシート
	資源・エネルギー問題と私たちの生活	● 限りある資源 ● 資源問題の解決をめざして ＜具体的な学習内容＞ ・資源の有限性について理解を深め、石油に代わる資源には何があるか、資源を有効に利用するためにどのようにしなければならないかを考える。 ・エネルギー政策を見直すとともに、新エネルギーの現状と将来について考え、毎日の生活を見直し，省エネルギーに努めることが重要であることを理解する。 ・資源・エネルギー問題への考察を通して、幸福・正義・公正など社会のあり方を考察する基盤を理解する。	○ ○	 ○	○	○ ○	a:日常の生活や産業活動に欠かせない資源・エネルギー問題に対し関心が高まり、自らの問題として考える態度を身につけている。 b:資源・エネルギー問題について、資源が有限であることや偏在していることについて、具体的事例をもとに多面的・多角的に考察している。 c:教科書や資料集に掲載されている資源・エネルギー問題に関する図版・写真・資料などを適切に使用している。 d:エネルギー利用の変化と石油の需給、原子力発電の課題についての知識を身につけている。また、日本のエネルギー事情について、他の先進国と比較した上で理解している。 新エネルギーの現状と問題点、これからの利用について具体的に理解している。	定期考査 ワークシート

前期(後半)	青年期と自己の形成	● 青年期とは ● 青年期を充実させるために ● 社会とのかかわり ● 私たちの生きがい ＜具体的な学習内容＞ ・人生の中で青年期はどのような意味をもつのか、青年期の心理の特徴について理解し、自立するためには何をしたらよいかを考える。 ・青年期の意義や青年期の心理について、それらがどのようなものかを理解し、自分自身の問題として考える。 ・社会への参加について、具体的事例をあげて多角的に考察する。 ・なぜ生きがいを求めようとするのか、人生における職業の意味や社会活動の意義について考える。	○ ○ ○	 ○ 	 ○ 	○ ○ ○	a:青年期とは人生の中でどのような意味をもつのか考える態度を身につけており、青年期の心理にはどのような特徴があるのか、自分自身の問題として考える態度を身につけている。また、職業のもつ意味について具体的に理解しようとしている。 b: 社会への参加および職業生活について、具体的事例をあげて多角的に考察している。 c:職業選択やボランティア活動・男女共同参画社会などに関する資料をさまざまな情報手段を活用して収集している。 d:青年期の意義や青年期の心理について、それらがどのようなものか理解している。また、人生における職業の意味や社会活動の意義について理解している。	定期考査 ワークシート
後期(前半)	現代の民主政治と政治参加の意義 【主権者教育】	● 日本国憲法の基本原理 ● 国会の運営と権限 ● 内閣と行政の民主化 ● 地方自治と住民の福祉 ● 選挙制度の現状と課題 ● 世論の形成と政治参加 ＜具体的な学習内容＞ ・国会の地位と構成，権限について理解する。 ・議院内閣制のしくみ、内閣総理大臣の権限、行政の民主化について理解する。 ・地方自治に住民はどのような権利をもっているか、また、地方自治のもつ課題について、自分自身の問題として具体的に考察し、その知識を身につけている。 ・政党の役割，選挙のしくみ，世論の形成について理解している。	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:国会の地位と構成・権限、議院内閣制のしくみ、内閣総理大臣の権限、行政の民主化、政党の役割、選挙のしくみ、世論の形成について理解しようとする態度を身につけている。また、地方自治に住民はどのような権利をもっているか、自分自身の問題として考える態度を身につけている。 b:国会の権限、議院内閣制のしくみ、内閣総理大臣の権限、行政の民主化、政党の役割、選挙のしくみ、世論の形成ついて、多角的に考察している。また、地方自治に住民はどのような権利をもっているか、また、地方自治のもつ課題について、自分自身の問題として具体的に考察している。 c:政党の役割、選挙のしくみ、世論の形成について、さまざまな情報手段を使用して調査する方法を身につけている。	定期考査 ワークシート

							d:国会の権限、議院内閣制のしくみ、内閣総理大臣の権限、行政の民主化、政党の役割、選挙のしくみについての知識を身につけている。また、地方自治に住民はどのような権利をもっているか、地方自治のもつ課題について、自分自身の問題として理解しその知識を身につけている。	
後期(後半)	現代の経済社会と私たちの生活	● 雇用と労働問題 ● 労働環境の整備 ● 社会保障と社会福祉 ● これからの社会保障 ＜具体的な学習内容＞ ・労働者が憲法や法律で守られている理由を考え、雇用事情の変化と労働条件や労働環境を理解する。 ・雇用事情の変化とさまざまな労働問題について具体的事例をあげて多角的に考察する。 ・社会保障の意義を理解し，現代の社会保障の課題について考察する。	○ ○ ○	 ○ ○	 ○ 	○ ○ ○ 	a:雇用事情の変化とさまざまな労働問題について、理解しようとする態度を身につけている。また、現代の社会保障の課題について考える態度を身につけている。 b:雇用事情の変化とさまざまな労働問題について、具体的な事例をあげて多角的に考察している。また、日本の社会保障について、さまざまな情報手段を活用して情報を収集し、内容をまとめてレポートを作成したりするなど、適切に表現する方法が身についている。 c:社会保障について、社会保障のあゆみから課題まで多角的に考察している。 d:雇用事情の変化にともなうさまざまな労働問題について理解し、知識を身につけている。また、社会保障のあゆみを理解し、現代の社会保障の課題について知識を身につけている。	定期考査 確認テスト レポート ノート提出 授業態度 発問評価

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。